

## 令和4年度JKA補助事業「カーボンニュートラル技術マッチング事業」委託先の募集について(公募要領)

当センターでは、今年度、公益財団法人JKAの補助を受け、「カーボンニュートラル技術マッチング事業」(以下、「マッチング事業」と言う。)を実施することとしております。

つきましては、マッチング事業の委託先について下記のとおり募集致しますので、受託を希望される場合は期間内に所定の方法により応募されますよう、ご案内申し上げます。

### 記

#### 1. 事業の目的

当センターでは、今年度カーボンニュートラル技術として兼松エンジニアリング株式会社のマイクロ波減圧加熱システム※を取り上げ、当該システムのマッチング支援事業を推進することとしました。

本マッチング支援事業を通じ、四国域内の特長ある技術を活用することでカーボンニュートラルの早期実現に貢献するとともに、四国域内産業の活性化を図りたいと考えています。

※マイクロ波減圧加熱システムの詳細については別紙1をご参照ください。

#### 2. 「マッチング事業」委託先の募集について

募集する委託事業内容は下記のとおりです。

##### (1) マッチング事業等の企画

- マッチングの進め方及び取り組みなど事業全体を企画・立案する。
- 販路開拓候補先となる需要家企業等を抽出し、マッチングに係る活動計画を策定する。

##### (2) マッチング活動等業務

マッチング事業等の企画に基づき、販路開拓候補先となる需要家企業等とのマッチング促進及び当該カーボンニュートラル技術の認知度向上に向けた活動を実施する。

▶ 需要家企業との商談及び当該技術の認知度向上活動の目標件数：30件程度

##### (3) マッチング活動等結果の報告

活動状況については、適宜報告を行うとともに、必要に応じて結果を評価する。

また、マッチング活動のとりまとめ及び案件毎の今後の課題などを評価する。

##### (4) スケジュール

下記スケジュールを基本とします。

- 企画書・見積書の提出(事業の企画・立案)・・・公募開始～令和4年9月20日(火)
- マッチング活動等業務・・・・・・・・・・・・・・・・令和5年2月末日まで
- マッチング活動等結果報告・・・・・・・・・・・・・・・・契約期間満了日(令和5年3月)まで

##### (5) 応募資格

マッチング事業等の対象となる申請者は、次の要件を満たす団体もしくは企業とします。

- マッチング事業等に関するノウハウを有し、事業目的の達成及び事業計画の遂行に必要な組織、人員等を有しているか、これらを調達できること。
- マッチング事業等を円滑に遂行するために必要な経営基盤を有し、資金等について十分な管理能力を有していること。
- マッチング事業等の実施にあたり、当センターとの連絡調整や打ち合わせなどに迅速かつ適切に対応できること。
- 政府関係機関等において、補助金交付等の停止及び契約に係わる指名停止等の処分を受けていないこと。

#### (6) 応募方法

応募期間内に以下の資料を郵送にて提出して下さい。(提出先は本文末尾に記載)

- 企画書(サイズA4、様式自由)
- 見積書(サイズA4、可能な限り積算根拠を明確にすること)(\*)
- 概要パンフレット
- 直近の決算書類
- 過去の調査業務実績

#### (\*) 見積書の経費積算について

- 人件費、事業費、一般管理費等にかかる費用を詳細に積算して下さい。
- 人件費は、事業に関わる人員のランク毎に区分して積算して下さい。

なお、人件費単価については、受託単価の定めのある場合は当該受託単価にて設定し、受託単価の定めがない場合には、当該受託事業に従事する予定の職員の前年度の給与総額(※1)を前年度の理論労働時間(※2)で除したもの(円未満切捨て)を単価として設定して下さい。

(※1) 年間給与総額には、基本給のほか賞与、住宅手当等諸手当のほか、法定福利費(健康保険料、厚生年金保険料、労働保険料、児童手当拠出金、身体障害者雇用納付金、労働基準法の休業補償等)を含みます。時間外手当及び退職金は除きます。

(※2) 年間理論総労働時間は、受託者の就業規則等に基づき、1日あたりの所定労働時間及び年間所定営業日数をそれぞれ算出し、日数及び時間を乗じて得た時間です。

- 事業費は、旅費、通信運搬費、印刷費、臨時備役費等に区分して積算して下さい。
- 一般管理費は、人件費及び事業費の総計の10%以内で積算して下さい。

#### (7) 応募期限

令和4年 **9月20日(火)まで**

#### (8) 委託先の選定、契約手続きについて

- 委託先については、企画書の内容、応募者の事業実施能力、見積金額等を総合的に評価して決定し、その結果(採択または不採択)は、担当者宛に郵送にてご通知いたします。
- 委託先の採択決定後、委託契約締結に向け事業内容等について当センターと協議を行い、契約手続きを進めます。速やかに当センターとの間で委託契約手続きを行って頂きます。
- 委託期間は、委託契約締結日から契約期間満了日までとします。

(9) その他

- 資料の作成、応募に要する費用は、応募者の負担とさせていただきます。
- 提出された資料は返却いたしません。
- 応募企画書の内容等について、必要に応じ、ヒアリングを実施させていただくことがあります。
- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大による社会情勢の影響等により、本事業が計画通り遂行できない情勢が発生した場合は、その都度、協議し、本事業内容を変更等いたします。
- ご不明な点などについては、応募資料提出先までお問い合わせください。

**【応募資料提出先及び問い合わせ先】**

一般財団法人四国産業・技術振興センター 産業振興部 久門  
〒760-0033 高松市丸の内2番5号 ヨンデンビル  
TEL : 087-851-7081、FAX : 087-851-7027  
e-mail : [kumon@tri-step.or.jp](mailto:kumon@tri-step.or.jp)

—この事業は、競輪の補助を受けて実施します。—

<https://www.jka-cycle.jp/>



以 上

# 兼松エンジニアリング株式会社

さまざまな食品素材や液状食品を低運転コストで乾燥・濃縮

粘性のある液状食品や  
ペーストも焦がさない

代表者名	代表取締役社長 山本 琴一	窓口担当	開発部 山中 恭二
電話/FAX	088-845-5511 / 088-845-5211	E-mail	k.yamanaka@kanematsu-eng.jp
住 所	高知市布師田 3981 番地 7		
主要製品	環境整備機器（吸引、圧送、高圧洗浄）		
事業内容	環境整備機器の開発・製造・販売	URL	http://www.kanematsu-eng.jp/
資本金(百万円)	313	設立年月	1971 年 9 月
		売上(百万円)	11,606
		従業員数	217 名

## マイクロ波減圧乾燥装置

【適用可能分野】 食品、農産物等  
 【開発レベル】  アイデア段階  試作/実験段階  開発完了段階  製品化段階  
 【特許の有無】 (  有  無 ※特許出願中 )

【業種】  
 食品加工  
 調味料・エキス製造

### ■ 特長

#### 高品質

- 減圧による低温乾燥
- 高精度な沸点温度コントロール(圧力制御)による品質の安定化

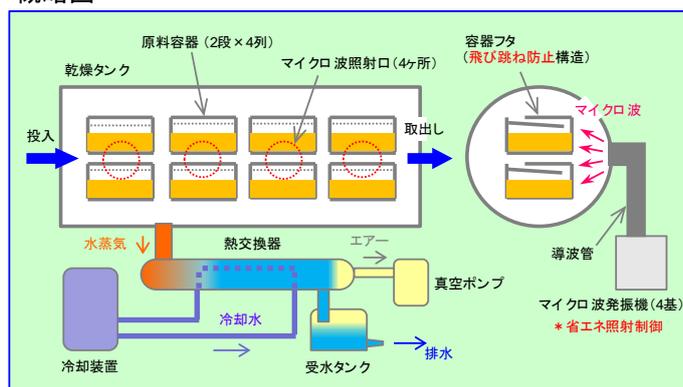
#### 低運転コスト

- 熱風乾燥に対して高効率・短時間
- 水分蒸発量に追従するキメ細かなマイクロ波照射の省エネ制御

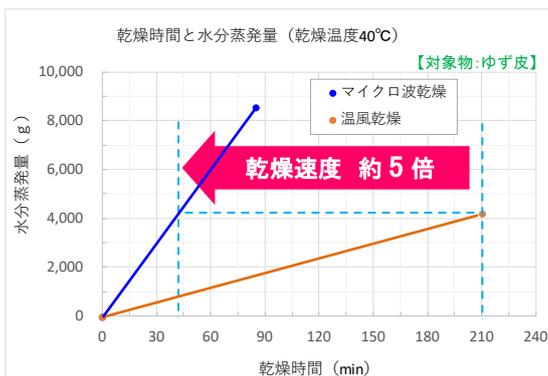
#### 幅広い用途

- 多品種・少量生産に最適
- 飛び跳ね防止構造の専用容器
- 粘性のある液状食品やペーストも焦がさずに乾燥

### ■ 概略図



### ■ 温風乾燥／噴霧乾燥との比較

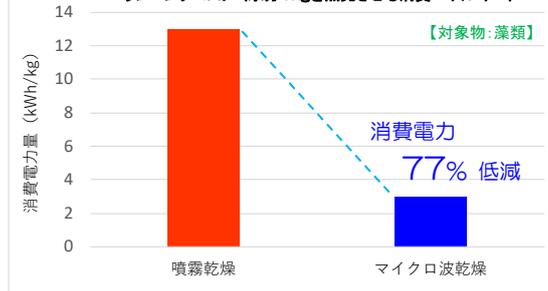


### ■ 仕様例

型 式	DRY-V080P120
仕込量	80 L (10L 容器×8 枚)
マイクロ波出力	12 kW (3kW×4 基)
乾燥タンク圧力範囲	7.4~101.3 kPa[abs] (圧力一定保持機能)
乾燥温度範囲	40~100°C (10°C刻み)
水分蒸発量	9 kg/hr
設置寸法 ※	W5400×D3200×H2000

※装置本体の設置スペースです。冷却装置(チラー)のみ屋外への設置となります。

### ランニングコスト (水分1kgを蒸発させる消費エネルギー)



### ■ 乾燥試験例



トマト(セミドライ) 含水率 26%  
 柑橘果皮(セミドライ) 含水率 28%  
 ペースト状の緑藻類 含水率 70%(乾燥前) → 5%(乾燥後)

※他にも「液体調味料の乾燥」「粘性のある飲料水の高濃縮」など試験実績あり



### 知財・受賞歴・PR事項等

特開 2020-192511 「連続抽出・乾燥装置」

希望提携内容	食品素材、調味料、エキス、健康食品、海産物(藻類、貝類など)
キーワード	マイクロ波、低温乾燥、低温濃縮